

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（外国語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>Akechi T</u> , et al	Depression/ Anxiety	Eduardo Bruera IH, Charles F von Gunten, Tatsuya Morita	Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care, Second Edition.	CRC Press	New York	2015	691-702
		Edited by Bruera E, <u>Morita T</u> , et al	Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care, Second Edition.	CRC Press	United Kingdom	2015	

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>松本禎久</u>			新版がん緩和ケアガイドブック	青海社	東京	2017	
<u>木澤義之他</u>	小児緩和ケアの現状と展望	志真泰夫 恒藤 暁 細川豊史 宮下光令 山崎章郎	ホスピス緩和ケア白書 2017	青海社	東京都	2017	34-37
井上 順 一 朗, <u>木澤義之他</u>	緩和医療の実際	井上順一郎 神津 玲	理学療法MOOK21 がんの理学療法	三輪書店	東京都	2017	93-98
<u>木澤義之他</u>	緩和医療ピットフォールフ	森田達也 濱口恵子	緩和医療ピットフォールフ	南江堂	東京都	2017	6-78

	アイル		アイル				
<u>木澤義之他</u>	緩和医療と終末期(エンド・オブ・ライフ)ケア	矢崎義雄他	内科学	朝倉書店	東京都	2017	186-188
<u>木澤義之他</u>	人生の最終段階を見据えたアドバンス・ケア・プランニング	長江弘子	「生きる」を考える	日本看護協会出版会	東京都	2017	186-196
<u>木澤義之他</u>	わが国の政策と診療報酬の動向	木澤義之 矢野和美	心疾患 COPD 神経疾患の緩和ケア	青海社	東京都	2017	8-11
<u>木澤義之他</u>	エンド・オブ・ライフケア	小川朝生 木澤義之 山本 亮	新版 がん緩和ケアガイドブック	青海社	東京都	2017	95-105
<u>木澤義之他</u>	患者と家族の意向が異なる時	木澤義之 山本 亮 浜野 淳	いのちの終わりにどうかかわるか	医学書院	東京都	2017	68-73
<u>木澤義之他</u>		木澤義之 山本 亮 浜野 淳	いのちの終わりにどうかかわるか	医学書院	東京都	2017	全項
<u>木澤義之他</u>		日本頭頸部癌学会	頭頸部癌診療ガイドライン	金原出版株式会社	東京都	2017	
<u>明智龍男</u>	「本人が不安を感じています」は本当?	森田達也、 濱口恵子	苦い経験から学ぶ!緩和医療ピットフォールファイル	南江堂	東京	2017	136-137
<u>明智龍男</u>	リスペリドン少量で傾眠と誤嚥性肺炎発生	森田達也、 濱口恵子	苦い経験から学ぶ!緩和医療ピットフォールファイル	南江堂	東京	2017	72
<u>明智龍男</u>	適応障害	鈴木直、 宮城悦子、藤村正樹、東口高志	婦人科がん領域における緩和医療の実践	金原出版株式会社	東京	2017	158-165
<u>明智龍男</u>	せん妄、手術後精神障害(ICU)症候群.	福井次矢、 高木誠、 小室一成	今日の治療指針	医学書院	東京	2017	99
<u>明智龍男</u>	認知行動療法.	福井次矢、高木誠、 小室一成	今日の治療指針	医学書院	東京	2018	998-999
<u>森田達也</u>		<u>森田達也</u>	終末期の苦痛がなくな	医学書院	東京	2017	

			い時、何が選 択できるの か？ - 苦痛緩 和のための鎮 静〔セデーシ ョン〕				
		森田達也, 他 (編集者)	苦い経験から 学ぶ! 緩和医 療ピットフォ ールファイル	南江堂	東京	2017	
José L. Pereira(著 者)		丹波嘉一郎, 他(監訳)	Pallium Canada 緩 和ケアポケッ トブック Pallium Palliative Pocketbook Second Edition	メディカ ル・サイエ ンス・イン ターナシ ヨナル	東京	2017	
		日本がんサポ ーティブケア 学会(編)	がん薬物療法 に伴う抹消神 経障害マネジ メントの手引 き 2017年版	金原出版 (株)	東京	2017	
大谷弘行	苦い経験から 学ぶ! 緩和医 療ピットフォ ール ファイル	森田達也 濱口恵子	緩和医療ピッ トフォール	南江堂	東京	2017	45-47
小川朝生、 木澤義之、 濱野淳、山 本亮、飯島 勝矢、平井 啓、道永麻 里、他		小川朝生 木澤義之 山本亮	新版 がん緩 和ケアガイド ブック	青海社	東京	2017	
小川朝生	(3) 精神的 ケア	大江裕一郎、 鈴木健司	インフォーム ドコンセント のための図説 シリーズ 肺 がん 改訂 5 版	株式会 社 医 薬 ジャ ーナル社	大阪 市 中央 区	2017	212-6
小川朝生	あなたの患者 さん、認知症 かもしれません	小川朝生	あなたの患者 さん、認知症 かもしれません	医学書院	東京 都 文京 区	2017	
		森田達也, 木 澤 義 之 (監	緩和ケアレジ デントマニユ	(株)医学書 院	東京	2016	

		修), 西智弘, 松本禎久, 森 雅紀, 山口崇 (編集)	アル				
松本禎久	腕神経叢の神 経障害性疼 痛・プロの手 の内がわか る!がん疼痛 の処方 さじ 加減の極意			南山堂	東京	2016	10-23
松本禎久	直腸肛門の強 い疼痛・プロ の手の内がわ かる!がん疼 痛の処方 さ じ加減の極意	森田達也編		南山堂	東京	2016	68-79
木澤義之 他	緩和医療ケー スファイル	森田達也 木澤義之 新城拓也	緩和医療ケ ースファイ ル	南江堂	東京都	2016	全項
木澤義之 他	緩和ケアレジ デントマニ ュアル	森田達也 木澤義之 西 智弘 松本禎久 森 雅紀 山口 崇	緩和ケアレ ジデントマ ニュアル	医学書院	東京都	2016	全項
木澤義之 他	心肺蘇生に関 する望ましい 意思決定のあ り方に関する 研究	「遺族によ るホスピス・ 緩和ケアの 質の評価に 関する研究」 運営委員会	遺族による ホスピス・緩 和ケアの質 の評価に関 する研究3	青海社	東京都	2016	129- 134
木澤義之 他	緩和医療ケー スファイル	森田達也 木澤義之 新城拓也	緩和医療ケ ースファイ ル	南江堂	東京	2016	全項
木澤義之 他	緩和ケアレジ デントマニ ュアル	森田達也 木澤義之 西 智弘 松本禎久 森 雅紀 山口 崇	緩和ケアレ ジデントマ ニュアル	医学書院	東京	2016	全項
木澤義之 他	心肺蘇生に関 する望ましい	「遺族によ るホスピス・	遺族による ホスピス・緩	青海社	東京	2016	129- 134

	意思決定のあり方に関する研究	緩和ケアの質の評価に関する研究」運営委員会	和ケアの質の評価に関する研究3				
國頭英夫 (著) 明智龍男 (監修)			死にゆく患者(ひと)とどう話すか	医学書院			
明智龍男	総合病院精神科での研修の重要性	永井良三	精神科研修ノート.	診断と治療社	東京	2016	41-42
		宮下光令(編集), 森田達也(医学監修), 他	ナーシング・グラフィカ成人看護学緩和ケア	メディカ出版	大阪	2016	
森田達也, 明智龍男, 他	第1章精神科臨床評価 - 全般 9. 霊性(スピリチュアリティ)	「臨床精神医学」編集委員会(編集)	精神科臨床評価マニュアル [2016年版]. 臨床精神医学(第44巻増刊)	アークメディア	東京	2016	72-80
		森田達也, 木澤義之, 他(編集)	続・エビデンスで解決! 緩和医療ケースファイル	南江堂	東京	2016	
森田達也, 他			エビデンスからわかる患者と家族に届く緩和ケア	医学書院	東京	2016	
	緩和ケアの魔法の言葉—どう声をかけたらいいかわからない時の道標	森田達也<責任編集>	緩和ケア26(6月増刊号)	青海社	東京	2016	
(原著) 森田達也	臨床をしながらできる国際水準の研究のまとめ方 - がん緩和ケアではこうする 医学研究及論文撰寫不求人 - 提供緩和医療案例	(譯者) 台湾安寧緩和醫學學會		合記圖書出版社	台湾新北市.	2016	
	緩和ケアレジデントマニユ	森田達也, 木澤義之(監		医学書院	東京	2016	

	アル	修), 松本禎久, 他(編集)					
	プロの手の内 がわかる! がん 疼痛の処方 さじ加減の極 意	森田達也(編 者)		南山堂	東京	2016	
大谷弘行	先々のことを 話し合うこと は大事 続エ ビデンスで解 決 緩和医療 ケースファイ ル	森田達也 木澤義之 新城拓也	続 エビデ ンスで解決 緩和医療ケ ースファイ ル	南江堂	東京	2016	p121- 125.
大谷弘行	終末期せん妄 をどうするか -ケアのあり 方	森田達也 木澤義之 新城拓也	続 エビデ ンスで解決 緩和医療ケ ースファイ ル	南江堂	東京	2016	p168- 172.
大谷弘行	終末期せん妄 をどうするか -パンフレッ トの効果	森田達也 木澤義之 新城拓也	続 エビデ ンスで解決 緩和医療ケ ースファイ ル	南江堂	東京	2016	p173- 177.
大谷弘行	家族の臨終に 間に合うこと の意義や負担 に関する研究 遺族によるホ スピス・緩和 ケアの質の評 価に関する研 究3	宮下光令 恒藤暁 志真秦夫	緩和ケアの質 の評価に関す る研究3 J- HOPE 3	日本ホスピ ス・緩和 ケア研究 振興財団	東京	2016	p108- 113.
大谷弘行	医療従事者が 知っておきたい がん患者の 心理	森田達也	プロの手の内 がわかる! さ じ加減の極意	南江堂	東京	2016	p350- 357.
小川朝生	第2章 がん 患者の「からだ 」と「こころ 」	鈴木伸一	からだの病気 のこころのケ ア	北大路書 房	京都市	2016	18-29
小川朝生	せん妄	森田達也、木 澤義之	緩和ケアレジ デントマニユ アル	医学書院	東京都 文京区	2016	261-8
小川朝生	はじめに	小川朝生	そうだったん だ! 認知症 治療・ケアが うまくいかない のは認知症 のせい?	文光堂	東京都	2016	-

小川朝生	認知症の人をとりまく問題 問題 - 「認知症 = もの忘れ」だけでは ありません!	小川朝生	そうだったんだ! 認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症 のせい?	文光堂	東京都	2016	1-6
小川朝生	認知症に気付く(初診・入院 時)	小川朝生	そうだったんだ! 認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症 のせい?	文光堂	東京都	2016	7-11
小川朝生	環境調整	小川朝生	そうだったんだ! 認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症 のせい?	文光堂	東京都	2016	128-34
小川朝生	退院支援	小川朝生	そうだったんだ! 認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症 のせい?	文光堂	東京都	2016	135-40
松本禎久	高度認知症における痛みと 痛みのコントロール	武田雅俊 監修、小川朝生・ 篠崎和弘編.	認知症の緩和ケア.	新興医学出版社	東京	2015	140-191
清水 研	うつ病・適応障害	上村恵一・小川朝生・谷向 仁・船橋英樹	がん患者の精神症状はこう 診る向精神薬はこう使う	じほう	東京	2015	30-45
清水 研	スピリチュアルに生かす posttraumatic growth(外傷 後成長)の視点	森田達也・木澤義之・新城 拓也	続 エビデンスで解決! 緩和医療ケース ファイル	南江堂	東京	2016	142-146
里見絵里子	緩和医療	杉原健一	ガイドライン・ハンドブック大腸癌 2014 年 版	医薬ジャーナル	東京	2015	271-274
明智龍男	サイコオンコロジー	佐藤隆美, 藤原康弘, 古瀬 純司, 大山優	がん治療エッセンシャルガイド改訂3版	南山堂	東京	2015	198-203
明智龍男	コンサルテーション・リエ ゾン精神医学	尾崎紀夫, 朝田隆, 村井俊 哉	標準精神医学	医学書院	東京	2015	177-188

木澤義之他	はじめてのがん疼痛ケア	木澤義之	はじめてのがん疼痛ケア	メディカ出版	大阪	2015	全項
木澤義之他	緩和ケアの定義 緩和ケアを開始する時期	木澤義之 齊藤洋司 丹波嘉一郎	緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44	南江堂	東京	2015	2-5
木澤義之他	入院患者の痛みの診かた	木澤義之	レジデントノート	羊土社	東京	2015	672-739
		宮下光令(編集), 森田達也(医学監修), 他(薬剤監修、執筆)	ナーシング・グラフィカ成人看護学 緩和ケア	メディカ出版	大阪	2015	
		荒尾晴恵, 森田達也(編集)	緩和・サポーターケア最前線. がん看護 第20巻第2号(1・2増刊号)	南江堂	東京	2015	
		志真泰夫, 森田達也, 他(編集)	ホスピス緩和ケア白書 2015—ホスピス緩和ケアを支える専門家・サポーター—	青海社	東京	2015	
森田達也	第 章症状マネジメント 3. 死が近づいたとき	木澤義之, 他(編集)	緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44—学生・研修医・これから学ぶあなたのために—	南江堂	東京	2015	148-153
		森田達也, 木澤義之, 他(責任編集)	緩和ケア臨床 日々の悩む場面のコントラバーシー. 緩和ケア 25(6月増刊号)	青海社	東京	2015	
森田達也	第 章 臨床腫瘍学の実践 51. 緩和医療 1. 疼痛緩和と終末期医療	日本臨床腫瘍学会(編集)	新臨床腫瘍学(改訂第4版)—がん薬物療法専門医のために—	南江堂	東京	2015	657-666
森田達也, 他			死亡直前と看取りのエビデンス	医学書院	東京	2015	

森田達也	5.緩和ケアの普及啓発・教育・研究 7)緩和ケア領域における臨床研究の現状と課題	細川豊史(編集)	ペインクリニック 36(別冊秋号)	真興交易(株)医書出版部	東京	2015	677-688
森田達也	5.緩和ケアの普及啓発・教育・研究 8)国際的に最大規模の地域緩和ケア介入研究が明らかにしたものの：OPTIM-studyの意義	細川豊史(編集)	ペインクリニック 36(別冊秋号)	真興交易(株)医書出版部	東京	2015	689-700
森田達也	終末期患者の不眠に対する睡眠薬の経静脈投与：ロヒプノールとドルミカムの比較	岩田健太郎(編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	282-286
森田達也	がん疼痛のベースライン鎮静に使用するオピオイドの比較：オキシコドンとフェンタニル貼付剤とモルヒネ	岩田健太郎(編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	317-326
森田達也	がん疼痛のレスキュー薬として使用するオピオイドの比較：オキシコドンとモルヒネとフェンタニル口腔粘膜吸収薬	岩田健太郎(編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	327-334

森田達也	がん疼痛に対する経口の鎮痛補助薬の比較：リリカとトリプタノールとサインバルタとテグレトールとメキシチールと経口ケタミン	岩田健太郎 (編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	335-344
森田達也	がん疼痛に対する非経口の鎮痛補助薬の比較：ケタミンとキシロカイン	岩田健太郎 (編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	345-351
森田達也	終末期患者の死前喘鳴(デスラットル)に対する抗コリン薬の比較：ハイスコとブスコパンとアトロピン	岩田健太郎 (編集)	薬のデギュスタシオン—製薬メーカーに頼らずに薬を勉強するために—	金芳堂	京都	2015	352-357
		日本アプライド・セラピューティクス学会(編集)	2 ページで理解する標準薬物治療ファイル改訂2版	南山堂	東京	2015	
大谷弘行	がん患者の気持ちの変化(概説)とがん患者の気持ちを汲んだコミュニケーション(傾聴、共感、受容)	荒尾晴恵 森田達也	がん看護1・2増刊号 緩和・サポータティブケア 最前線	南江堂	東京	2015	215-218
大谷弘行	患者・家族と現実的な目標について話し合う	木澤義之 齊藤洋司 丹波嘉一郎	緩和ケアの基本66とアドバンス44	南江堂	東京	2015	24-25

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamada T, <u>Morita T,</u> <u>Matsumoto Y,</u> <u>Otani H,</u> et al	A Prospective, Multicenter Cohort Study to Validate a Simple Performance Status-Based Survival Prediction System for Oncologists	Cancer	123(8)	1442-1452	2017
Matsuo N, <u>Morita T,</u> <u>Matsumoto Y,</u> et al	Predictors of delirium in corticosteroid-treated patients with advanced cancer: An exploratory, multicenter, prospective, observational study	J Palliat Med	20(4)	352-359	2017
Mori M, Shirado AN, Morita T, Okamoto K, Matsuda Y, <u>Matsumoto Y,</u> Iwase S. et al	Predictors of response to corticosteroids for dyspnea in advanced cancer patients: A preliminary multicenter prospective observational study	Support Care Cancer	25(4)	1169-1181	2017
Yamada T, Morita T, Maeda I, Inoue S, Ikenaga M, <u>Matsumoto Y,</u> et al	A prospective, multicenter cohort study to validate a simple performance status-based survival prediction system for oncologists	Cancer	123	1442-1452	2017
Wada S, Inoguchi H, Hirayama T, Matsuoka YJ, Uchitomi Y, Ochiai H, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y, <u>Shimizu K.</u>	Yokukansan for the treatment of preoperative anxiety and postoperative delirium in colorectal cancer patients: a retrospective study	Jpn J Clin Oncol.	1;47(9)	844-848. doi	2017 Sep
Yamashita R, <u>Kizawa Y,</u> et al	Unfinished Business in Families of Terminally Ill With Cancer Patients.	J Pain Symptom Manage.	54(6)	861-869	2017
Aoyama M, <u>Kizawa Y,</u> et al	The Japan HOspice and Palliative Care Evaluation Study 3: Study Design, Characteristics of	Am J Hosp Palliat Care.	34(7)	654-664	2017

	Participants and Participating Institutions, and Response Rates.				
Mori M, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Talking about death with terminally-ill cancer patients: What contributes to the regret of bereaved family members?	JPain Symptom Manage		Epub ahead of print	2017
Hamano J, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Trust in Physicians, Continuity and Coordination of Care, and Quality of Death in Patients with Advanced Cancer	J Palliat Med	20(11)	1252-1259	2017
Hirooka K, <u>Kizawa Y</u> ,et al	End-of-life experiences of family caregivers of deceased patients with cancer: A nation-wide survey	Psycho Oncology		Epub ahead of print	2017
Momo K, <u>Kizawa Y</u> , et al	Assessment of indomethacin oral spray for the treatment of oropharyngeal mucositis-induced pain during anticancer therapy	Supportive Care in Cancer		Epub ahead of print	2017
Otani H, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Meaningful Communication Before Death, but Not Present at the Time of Death Itself, is Associated With Better Outcomes on Measures of Depression and Complicated Grief Among Bereaved Family Members of Cancer Patients	J Pain Symptom Manage	54(3)	273-279	2017 July
Yamaguchi T, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Effects of End-of-Life Discussions on the Mental Health of Bereaved Family Members and Quality of Patient Death and Care	J Pain Symptom Manage	54 (1)	17-26	2017 July
Hatano Y, <u>Kizawa Y</u> ,et al	The relationship between cancer patients' place of death and bereaved caregivers' mental health status	Psycho Oncology	26(11)	1959-1964	2017
Kanoh A, <u>Kizawa Y</u> ,et al	End-of-life care and discussions in Japanese geriatric health service	American Journal of Hospice and Palliative Medicine			2017 Jan

	facilities: A nationwide survey of managing directors' viewpoints				
Miura H, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Benefits of the Japanese version of the advance care planning facilitators education program	Geriatr Gerontol Int		350-352	2017 Feb
Yamamoto S, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Decision Making Regarding the Place of End-of-Life Cancer Care: The Burden on Bereaved Families and Related Factors	J Pain Symptom Manage	53 (5)	862-870	2017 May
Yotani N, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Differences between Pediatricians and Internists in Advance Care Planning for Adolescents with Cancer.	J Pediatr.	182	356-362	2017 Mar
Morita T, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Continuous Deep Sedation: A Proposal for Performing More Rigorous Empirical Research	J Pain Symptom Manage	53 (1)	146-152	2017 Jan
Yotani N, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Advance care planning for adolescent patients with life-threatening neurological conditions: a survey of Japanese paediatric neurologists	BMJ Pediatrics Open		Epub ahead of print	2017
Sakashita A, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Which research questions are important for the bereaved families of palliative care cancer patients? A nationwide survey.	J Pain Symptom Manage		Epub ahead of print	2017
Shinjo T, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Japanese physicians' experiences of terminally ill patients voluntarily stopping eating and drinking: a national survey	BMJ Support Palliative Care		Epub ahead of print	2017
Kobayakawa M, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Psychological and psychiatric symptoms of terminally ill patients with cancer and their family caregivers in the home-care setting: A nation-wide survey from the perspective of	J Psychosom Res.	103	127-132	2017 Dec

	bereaved family members in Japan.				
Mori M, <u>Kizawa Y</u> ,et al	"What I Did for My Loved One Is More Important than Whether We Talked About Death": A Nationwide Survey of Bereaved Family Members.	J Palliat Med.		Epub ahead of print	2017
Hamano J, <u>Kizawa Y</u> ,et al	A nationwide survey about palliative sedation involving Japanese palliative care specialists: Intentions and key factors used to determine sedation as proportionally appropriate.	J Pain Symptom Manage.		Epub ahead of print	2017
Kakutani K, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Prospective Cohort Study of Performance Status and Activities of Daily Living After Surgery for Spinal Metastasis.	Clin Spine Surg.	30(8)	E1026-E1032	2017 Oct
Nakazawa Y, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Changes in nurses' knowledge, difficulties, and self-reported practices toward palliative care for cancer patients in Japan: an analysis of two nationwide representative surveys in 2008 and 2015.	J Pain Symptom Manage.		Epub ahead of print	2017
Matsuoka H, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Study protocol for a multi-institutional, randomised, double-blinded, placebo-controlled phase III trial investigating additive efficacy of duloxetine for neuropathic cancer pain refractory to opioids and gabapentinoids: the DIRECT study.	BMJ Open.	7(8)	e017280	2017 Aug
Miyazaki S, <u>Kizawa Y</u> ,et al	Quality of life and cost-utility of surgical treatment for patients with spinal metastases: prospective cohort study.	Int Orthop.	41(6)	1265-1271	2017 Jun

Morita T, <u>Kizawa Y</u> , et al	Continuous Deep Sedation: A Proposal for Performing More Rigorous Empirical Research.	J Pain Symptom Manage.	53(1)	146-152	2017 Jan
Aoyama M, <u>Kizawa Y</u> , et al	Factors associated with possible complicated grief and major depressive disorders	Psycho Oncology		1-7	2017 Dec
Onishi H, <u>Akechi T</u> , et al	Subclinical thiamine deficiency in patients with abdominal cancer	Palliat Support Care			in press
Ogawa S , <u>Akechi T</u> et al	Fear of Fear and Broad Dimensions of Psychopathology over the Course of Cognitive Behavioural Therapy for Panic Disorder with Agoraphobia in Japan	East Asian Archives of Psychiatry			in press
Kato T , <u>Akechi T</u> , et al	Optimising first- and second-line treatment strategies for major depressive disorder: a pragmatic, multi-centre, assessor-blinded two-step randomised controlled trial	PLOS Med			in press
Furukawa TA, <u>Akechi T</u> , et al	How do people use and benefit from smartphone CBT? Content analyses of completed cognitive and behavioral skills exercises with Kokoro-app	Journal of Medical Internet Research			in press
Sakamoto N, <u>Akechi T</u> , et al	Supportive care needs and psychological distress and/or quality of life in ambulatory advanced colorectal cancer patients receiving chemotherapy: a cross-sectional study	Jpn J Clin Oncol		1-5	2017
Onishi H , <u>Akechi T</u> , et al	Wernicke encephalopathy without delirium in patients with cancer	Palliat Support Care		1-4	2017
Okuyama T, <u>Akechi T</u> , et al	Psychotherapy for depression among advanced, incurable cancer patients: A systematic review and meta-analysis	Cancer Treat Rev	56	16-27	2017
Ogawa S , <u>Akechi T</u> , et al	The relationships between symptoms and quality of	Asia-Pacific psychiatry	9		2017

	life over the course of cognitive-behavioral therapy for panic disorder in Japan				
Ogawa S , <u>Akechi T</u> , et al	Fear of Fear and Broad Dimensions of Psychopathology over the Course of Cognitive Behavioural Therapy for Panic Disorder with Agoraphobia in Japan	East Asian archives of psychiatry	27	150-155	2017
Ogawa S , <u>Akechi T</u> , et al	The Mechanisms Underlying Changes in Broad Dimensions of Psychopathology During Cognitive Behavioral Therapy for Social Anxiety Disorder	Journal of Clinical Medicine Research	9	1019-1021	2017
Momino K , <u>Akechi T</u> , et al	Collaborative care intervention for the perceived care needs of women with breast cancer undergoing adjuvant therapy after surgery: a feasibility study	Jpn J Clin Oncol	47	213-220	2017
Ino K, <u>Akechi T</u> , et al	Anxiety sensitivity as a predictor of broad dimensions of psychopathology after cognitive behavioral therapy for panic disorder	Neuropsychiatr Dis Treat	13	1835-1840	2017
<u>Akechi T</u> , et al	Different pharmacological responses in late-life depression with subsequent dementia: a case supporting the reserve threshold theory	Psychogeriatrics			,2017
<u>Akechi T</u> , et al	Does cognitive decline decrease health utility value in older adult patients with cancer?	Psychogeriatrics	17	149-154	2017
Aiki S , <u>Akechi T</u> , at al	Cognitive dysfunction among newly diagnosed older patients with hematological malignancy: frequency, clinical indicators and	Jpn J Clin Oncol	1-7		2017

	predictors				
<u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Continuous deep sedation: A proposal for performing more rigorous empirical research.	J Pain Symptom Manage	53(1)	146-152	2017
Matsuo N, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , et al	Predictors of responses to corticosteroids for anorexia in advanced cancer patients: a multicenter prospective observational study.	Support Care Cancer	25(1)	41-50	2017
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Development the care evaluation scale version 2.0: a modified version of a measure for bereaved family members to evaluate the structure and process of palliative care for cancer patient.	BMC Palliat Care	16(1)	8	2017
Fujii A, <u>Morita T</u> , et al	Longitudinal assessment of pain management with the pain management index in cancer outpatients receiving chemotherapy.	Support Care Cancer	25(3)	925-932	2017
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Palliative care development in the Asia-Pacific region: an international survey from the Asia Pacific Hospice Palliative Care Network (APHN).	BMJ Support Palliat Care	7(1)	23-31	2017
Hamano J, <u>Morita T</u> , et al	Adding items that assess changes in activities of daily living does not improve the predictive accuracy of the palliative prognostic index.	Palliat Med	31(3)	258-266	2017
Okamoto Y, <u>Morita T</u> , et al	Desirable information of opioids for families of patients with terminal cancer: The bereaved family members' experiences and recommendations.	Am J Hosp Palliat Care	34(3)	248-253	2017
Mori M, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , et al	Predictors of response to corticosteroids for dyspnea in advanced cancer patients: a preliminary multicenter prospective	Support Care Cancer	25(4)	1169-1181	2017

	observational study.				
Matsuo N, Morita T, Matsumoto Y, et al	Predictors of delirium in corticosteroid-treated patients with advanced cancer: An exploratory, multicenter, prospective, observational study.	J Palliat Med	20(4)	352-359	2017
Yamada T, Morita T, Matsumoto Y, Otani H, et al	A prospective, multicenter cohort study to validate a simple performance status-based survival prediction system for oncologist.	Cancer	123(8)	1442-1452	2017
Yamamoto S, Morita T, Kizawa Y, et al	Decision making regarding the place of end-of-life cancer care: The burden on bereaved families and related factors.	J Pain Symptom Manage	53(5)	862-870	2017
Naito AS, Morita T, et al	Screening using the fifth vital sign in the electronic medical recording system.	Jpn J Clin Oncol	47(5)	430-433	2017
Morita T, et al	Author's reply to rady and verheijde.	J Pain Symptom Manage	53(6)	e12-e13	2017
Morita T, et al	Author's reply to twycross.	J Pain Symptom Manage	53(6)	e15-e16	2017
Amano K, Morita T, et al	C-reactive protein, symptoms and activity of daily living in patients with advanced cancer receiving palliative care.	J Cachexia Sarcopenia Muscle	8(3)	457-465	2017
Yamaguchi T, Kizawa Y, Morita T, et al	Effects of end-of-life discussions on the mental health of bereaved family members and quality of patient death and care.	J Pain Symptom Manage	54(1)	17-26	2017
Matsuoka H, Kizawa Y, Morita T, et al	Study protocol for a multi-institutional, randomized, double-blinded, placebo-controlled phase trial investigating additive efficacy of duloxetine for neuropathic cancer pain refractory to opioids and gabapentinoids: the DIRECT study.	BMJ Open	7(8)	e017280	2017
Uneno Y, Morita T, et al	Development and validation of a set of six adaptable prognosis prediction (SAP) models based on time-series real-	PloS One	12(8)	e0183291	2017

	world big data analysis for patients with cancer receiving chemotherapy: A multicenter case crossover study.				
Shimizu M, <u>Morita T</u> , et al	Validation study for the brief measure of quality of life and quality of care: A questionnaire for the national random sampling hospital survey.	Am J Hosp Palliat Care	34(7)	622-631	2017
Aoyama M, <u>Morita T</u> <u>Kizawa Y</u> , et al	The Japan Hospice and Palliative Care Evaluation Study 3: Study design, characteristics of participants and participating institutions and response rates.	Am J Hosp Palliat Care	34(7)	654-664	2017
<u>Otani H</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Meaningful communication before death, but not preset at the time of death itself, is associated with better outcomes on measures of depression and complicated grief among bereaved family members of cancer patient.	J Pain Symptom Manage	54(3)	273-279	2017
Takahashi R, <u>Morita T</u> , et al	Variations in denominators and cut-off points of pain intensity in the pain management index: A methodological systematic review.	J Pain Symptom Manage	54(5)	e1-e4	2017
Hamano J, <u>Kizawa Y</u> , et al	Trust in physicians, continuity and coordination of care and quality of death in patients with advanced cancer.	J Palliat Med	20(11)	1252-1259	2017
Hatano Y, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	The relationship between cancer patients' place of death and bereaved caregivers' mental health status.	Psychooncology	26(11)	1959-1964	2017
Kobayakawa M, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Psychological and psychiatric symptoms of terminally ill patients with cancer and their family caregivers in the home-care setting: A nation-wide	J Psychosomatic Research	103	127-132	2017

	survey from the perspective of bereaved family members in Japan.				
<u>Yamashita R</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Unfinished business in families of terminally ill with cancer patients.	J Pain Symptom Manage	54(6)	861-869	2017
<u>Mori M</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Talking about death with terminally-ill cancer patients: What contributes to the regret of bereaved family members?	J Pain Symptom Manage	54(6)	853-860	2017
<u>Watanabe YS</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Morita T</u> , et al	Comparison of indicators for achievement of pain control with a personalized pain goal in comprehensive cancer center.	J Pain Symptom Mang	Dec 14	[Epub ahead of print]	2017
<u>Aoyama M</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Factors associated with possible complicated grief and major depressive disorders.	Psychooncology	Dec 16	[Epub ahead of print]	2017
<u>Imai K</u> , <u>Morita T</u> , et al	Efficacy of two types of palliative sedation therapy defined using intervention protocols: proportional vs. deep sedation.	Support Cancer Care	Dec 14	[Epub ahead of print]	2017
<u>Hanada R</u> , <u>Morita T</u> , et al	Efficacy and safety of reinfusion of concentrated ascetic fluid for malignant ascites: a concept-proof study.	Support Cancer Care	Nov 22	[Epub ahead of print]	2017
<u>Mori M</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	“What I did for my loved one is more important than whether we talked about death”: A nationwide survey of bereaved family members.	J Palliat Med	Nov 20	[Epub ahead of print]	2017
<u>Shinjo T</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Japanese physicians’ experiences of terminally ill patients voluntarily stopping eating and drinking: a national survey.	BMJ Support Palliat Care	Nov 8	[Epub ahead of print]	2017
<u>Hamano J</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	A nationwide survey about palliative sedation involving Japanese palliative care specialists: Intentions and key factors used to determine sedation as proportionally appropriate.	J Pain Symptom Manage	Oct 19	[Epub ahead of print]	2017
<u>Tsukuura H</u> , <u>Morita T</u> , et al	Efficacy of prophylactic treatment for oxycodone-induced nausea and	Oncologist	Oct 16	[Epub ahead of print]	2017

	vomiting among patients with cancer pain (POINT): A randomized, placebo-controlled, double-blind trial.				
Hatano Y, <u>Morita T</u> , <u>Otani H</u> , et al	Physician behavior toward death pronouncement in palliative care units.	J Palliat Med	Sep 25	[Epub ahead of print]	2017
<u>Otani H</u> , et al	Meaningful communication prior to death, but not presence at the time of death itself, is associated with better outcomes on measures of depression and complicated grief among bereaved family members of cancer patients.	J Pain Symptom Manage.	54	1442-1452	
<u>Otani H</u> , et al	The death of terminal cancer patients: The distress experienced by their children and medical professionals who provide the children with support care	BMJ Supportive & Palliative Care.			In press
Yamada T, <u>Otani H</u> , et al	A prospective multicenter cohort study to validate a simple, performance status based, survival prediction system for oncologists	Cancer.	123	1442-1452	
Hirooka K, <u>Otani H</u> , et al	End-of-life experiences of family caregivers of deceased patients with cancer: A nation-wide survey	Psycho-Oncology.			In press
Hatano Y, <u>Otani H</u> , et al	Physician behavior toward death pronouncement in palliative care units	Journal of Palliative Medicine.			In press
Nakanishi M, Okumura Y, <u>Ogawa A</u> .	Physical restraint to patients with dementia in acute physical care settings: effect of the financial incentive to acute care hospitals.	International Psychogeriatrics			inpress
Hirooka K, Fukahori H, Taku K, Togari T, <u>Ogawa A</u> .	Quality of death, rumination, and posttraumatic growth among bereaved family members of cancer patients in home palliative care.	Psychooncology	26(12)	2168-2174	2017
Hirooka K,	Examining Posttraumatic	Am J Hosp Palliat	35(2)	211-217	2018

Fukahori H, Taku K, Togari T, <u>Ogawa A</u>	Growth Among Bereaved Family Members of Patients With Cancer Who Received Palliative Care at Home.	Care			
---	--	------	--	--	--

Mori M, <u>Morita T</u> , Okamoto K, Matsuda Y, <u>Matsumoto Y</u> , et al	Predictors of response to corticosteroids for dyspnea in advanced cancer patients: A preliminary multicenter prospective observational study.	Support Care Cancer	Epub ahead of print		2016
Matsuo N, <u>Morita T</u> , Matsuda Y, Okamoto K, <u>Matsumoto Y</u> , et al	Predictors of responses to corticosteroids for anorexia in advanced cancer patients: a multicenter prospective observational study		Epub ahead of print		2016
<u>Mori M</u> , <u>Nishi T</u> , <u>Nozato J</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Miyamoto S</u> , <u>Kizawa Y</u> , <u>Morita T</u> .	Unmet Learning Needs of Physicians in Specialty Training in Palliative Care: A Japanese Nationwide Study.	<u>J Palliat Med.</u>	19(10)	1074-1079	2016
Matsuo N, <u>Morita T</u> , Matsuda Y, Okamoto K, <u>Matsumoto Y</u> , Kaneishi K, et al	Predictor of Responses to Corticosteroids for Cancer-Related Fatigue in Advanced Cancer Patients: A Multicenter, Prospective, Observational Study.	J Pain Symptom Manage.	52(1)	64-72.	2016
Amano K, Maeda I, <u>Morita T</u> , Miura T, Inoue S, Ikenaga M, <u>Matsumoto Y</u> , M, Kinoshita H. et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study.	Lancet Oncol.	17(1)	115-22.	2016
Akizuki.N, <u>Shimizu K</u> , et al	Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study.	Jpn J Clin Oncol	46	71-7	2016
Inoguchi H, <u>Shimizu K</u> , et	Screening for untreated depression in cancer	Jpn J Clin Oncol			IN PRES

al	patients: a Japanese experience.				S
Yotani N, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Differences between Pediatricians and Internists in Advance Care Planning for Adolescents with Cancer.	J Pediatr.			2016 Dec 28. [Epub ahead of print]
Amano K, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members.	J Cachexia Sarcopenia Muscle.	7(5)	527-534	2016 Dec
Morita T, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Nationwide Japanese Survey About Deathbed Visions: "My Deceased Mother Took Me to Heaven".	J Pain Symptom Manage.	52(5)	646-654.e5.	2016 Nov
Kakutani K, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Prospective Cohort Study of Performance Status and Activities of Daily Living After Surgery for Spinal Metastasis.	Clin Spine Surg.			2016 Oct 19. [Epub ahead of print]
Mori M, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Unmet Learning Needs of Physicians in Specialty Training in Palliative Care: A Japanese Nationwide Study.	J Palliat Med.	19(10)	1074-1079	2016 Oct
Okuyama T, <u>Kizawa Y</u> ,etal	Current Status of Distress Screening in Designated Cancer Hospitals: A Cross-Sectional Nationwide Survey in Japan.	J Natl Compr Canc Netw.	14(9)	1098-104	2016 Sep
Sakashita A, <u>Kizawa Y</u> ,etal	How to Manage Hospital-Based Palliative Care Teams Without Full-Time Palliative Care Physicians in Designated Cancer Care Hospitals: A Qualitative Study.	Am J Hosp Palliat Care.	33(6)	520-6	2016 Jul
Aoyama M, <u>Kizawa Y</u> ,etal	The Japan Hospice and Palliative Care Evaluation Study 3: Study Design,	Am J Hos Palliative Care.		1-11	2016 May 2. [Epub

	Characteristics of Participants and Participating Institutions, and Response Rates.				ahead of print]
Nakazawa Y , <u>Kizawa Y</u> .et al	Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan:A Delphi Study.	J Pain Symptom Manage.	51(4)	652-661	2016 Apr
<u>Akechi T</u> , et al	Author reply: Brief screening of breast cancer survivors with distressing fear of recurrence	Breast Cancer Res Treat	156	205-206	2016
<u>Akechi T</u> , et al	Does cognitive decline decrease health utility value in older adult patients with cancer?	Psychogeriatrics			2016
Yamauchi T, <u>Akechi T</u> , et al	History of diabetes and risk of suicide and accidental death in Japan: The Japan Public Health Centre-based Prospective Study, 1990-2012	Diabetes & metabolism	42	184-191	2016
Yamada A, <u>Akechi T</u> , et al	Long-term poor rapport, lack of spontaneity and passive social withdrawal related to acute post-infectious encephalitis: a case report	SpringerPlus	5	345	2016
Sugiyama Y, <u>Akechi T</u> , et al	A Retrospective Study on the Effectiveness of Switching to Oral Methadone for Relieving Severe Cancer-Related Neuropathic Pain and Limiting Adjuvant Analgesic Use in Japan	J Palliat Med	19	1051-1059	2016
Onishi H, <u>Akechi T</u> , et al	Early detection and successful treatment of Wernicke encephalopathy in a patient with advanced carcinoma of the external genitalia during chemotherapy	Palliat Support Care	14	302-306	2016
Okuyama T, Uchida M, <u>Akechi T</u> , et al	Current Status of Distress Screening in Designated Cancer Hospitals: A Cross-Sectional Nationwide	Journal of the National Comprehensive Cancer Network :	14	1098-1104	2016

	Survey in Japan	JNCCN			
Ogawa S, <u>Akechi T</u> , et al	The relationships between symptoms and quality of life over the course of cognitive-behavioral therapy for panic disorder in Japan Asia-Pacific psychiatry	official journal of the Pacific Rim College of Psychiatrists			2016
Ogawa S, <u>Akechi T</u> , et al	Anxiety sensitivity and comorbid psychiatric symptoms over the course of cognitive behavioral therapy for panic disorder	British Journal of Medicine & Medical Research	13	1-7	2016
Ogawa S, <u>Akechi T</u> , et a	Predictors of comorbid psychological symptoms among patients with social anxiety disorder after cognitive-behavioral therapy	Open Journal of Psychiatry	6	102-106	2016
Momino K, <u>Akechi T</u> , et al	Collaborative care intervention for the perceived care needs of women with breast cancer undergoing adjuvant therapy after surgery: a feasibility study	Jpn J Clin Oncol			2016
Kubota Y, Okuyama T, Uchida M, <u>Akechi T</u> , et al	Effectiveness of a psycho-oncology training program for oncology nurses: a randomized controlled trial	Psychooncology	25	712-718	2016
Kawaguchi A, <u>Akechi T</u> , et al	Insular Volume Reduction in Patients with Social Anxiety	Disorder Frontiers in psychiatry	7	3	2016
Ishida K, <u>Akechi T</u> , et al	psychological burden on patients with cancer of unknown primary: from onset of symptoms to initial treatment	Jpn J Clin Oncol	46	652-660	2016
Inoguchi H, <u>Akechi T</u> ,et al	Screening for untreated depression in cancer patients: a Japanese experience	Jpn J Clin Oncol			2016
Fujisawa D, Okuyama T, <u>Akechi T</u> , et al	Impact of depression on health utility value in cancer patients	Psychooncology	25	491-495	2016
Fujimori M, <u>Akechi T</u> , et al	Factors associated with patient preferences for communication of bad news	Palliat Support Care		1-8	2016

Akizuki N, <u>Akechi T</u> , et al	Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study	Jpn J Clin Oncol	46	71-77	2016
Ohno T, <u>Morita T</u> , et al	The need and availability of dental services for terminally ill cancer patients: a nationwide survey in Japan.	Support Care Cancer	24(1)	19-22	2016
Akiyama M, <u>Morita T</u> , et al	The effects of community-wide dissemination of information on perceptions of palliative care, knowledge about opioids, and sense of security among cancer patients, their families, and the general public.	Support Care Cancer	24(1)	347-356	2016
Maeda I, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Otani H</u> , et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study.	Lance Oncol	17(1)	115-122	2016
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Establishing cutoff points for defining symptom severity using the Edmonton symptom assessment system-revised Japanese version.	J Pain Symptom Manage	51(2)	292-297	2016
Kaneishi K, <u>Morita T</u> , et al	Use of olanzapine for the relief of nausea and vomiting in patients with advanced cancer: a multicenter survey in Japan.	Support Care Cancer	24(6)	2393-2395	2016
Amano K, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members.	J Cachexia Sarcopenia Muscle	7(5)	527-534	2016
Hui D, <u>Morita T</u> , et al	Reply to the letter to the editor 'Integration between oncology and palliative care: does one size fit all?'	Ann Oncol	27(3)	549-550	2016

	by Verna et al.				
Nakazawa Y, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Population-based quality indicators for palliative care programs for cancer patients in Japan: A Delphi study.	J Pain Symptom Manage	51(4)	652-661	2016
Hamano J, <u>Morita T</u> , et al	Multicenter cohort study on the survival time of cancer patients dying at home or in a hospital: Does place matter?	Cancer	122(9)	1453-1460	2016
Amano K, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto T</u> , <u>Otani H</u> , et al	Clinical implications of C-reactive protein as a prognostic marker in advanced cancer patients in palliative care settings.	J Pain Symptom Manage	51(5)	860-867	2016
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	Association between bereaved families' sense of security and their experience of death in cancer patients: cross-sectional population-based study.	J Pain Symptom Manage	51(5)	926-932	2016
<u>Morita T</u> , et al	Uniform definition of continuous-deep sedation.	Lancet Oncol	17(6)	e222	2016
Kinoshita S, <u>Morita T</u> , et al	Changes in perceptions of opioids before and after admission to palliative care units in Japan: Results of a nationwide bereaved family member survey.	Am J Hosp Palliat Care	33(5)	431-438	2016
Kinoshita S, <u>Morita T</u> , et al	Japanese bereaved family members' perspectives of palliative care units and palliative care: J-HOPE study results.	Am J Hosp Palliat Care	33(5)	425-430	2016
Kobayakawa M, <u>Morita T</u> , et al	Family caregivers require mental health specialists for end-of-life psychosocial problems at home: a nationwide survey in Japan.	Psychooncology	25(6)	641-647	2016
Kusakabe A, <u>Morita T</u> , et al	Death pronouncements: Recommendations based on a survey of bereaved family members.	J Palliat Med	19(6)	646-651	2016
Kaneishi K, <u>Morita T</u> , et al	Use of olanzapine for the relief of nausea and vomiting in patients with	Support Care Cancer	24(6)	2393-2395	2016

	advanced cancer: a multicenter survey in Japan.				
Matsuo N, Morita T, Matsumoto Y, et al	Predictors of responses to corticosteroids for cancer-related fatigue in advanced cancer patients: A multicenter, prospective, observational study.	J Pain Symptom Manage	52(1)	64-72	2016
Ohno T, Morita T, et al	Change in food intake status of terminally ill cancer patients during last two weeks of life: A continuous observation.	J Palliat Med	19(8)	879-882	2016
Jho HJ, Morita T, et al	Prospective validation of the objective prognostic score for advanced cancer patients in diverse palliative settings.	J Pain Symptom Manage	52(3)	420-427	2016
Amano K, Morita T, et al	Need for nutritional support, eating-related distress and experience of terminally ill patients with cancer: a survey in an inpatient hospice.	BMJ Support Palliat Care	6(3)	373-376	2016
Mori I, Morita T, et al	Interspecialty differences in physicians' attitudes, beliefs, and reasons for withdrawing or withholding hypercalcemia treatment in terminally ill patients.	J Palliat Med	19(9)	979-982	2016
Okuyama T, Kizawa Y, Morita T, Akechi T, et al	Current status of distress screening in designated cancer hospitals: A cross-sectional nationwide survey in Japan.	J Natl Compr Canc Netw	14(9)	1098-1104	2016
Hui D, Morita T, et al	Clinician prediction of survival versus the palliative prognostic score: Which approach is more accurate?	Eur J Cancer	64	89-95	2016
Mori M, Matsumoto Y, Kizawa Y, Morita T, et al	Unmet learning needs of physicians in specialty training in palliative care: A Japanese Nationwide Study.	J Palliat Med	19(10)	1074-1079	2016
Amano K, Morita T, et al	A feasibility study to investigate the effect of	Palliat Med Hosp Care Open J	2(2)	37-45	2016

	nutritional support for advanced cancer patients in an inpatient hospice in Japan.				
Maeda I, <u>Morita T</u> , et al	Changes in relatives' perspectives on quality of death, quality of care, pain relief and caregiving burden before and after a region-based palliative care intervention.	J Pain Symptom Manage	52(5)	637-645	2016
<u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Nationwide Japanese survey about deathbed visions: "My deceased mother took me to heaven".	J Pain Symptom Manage	52(5)	646-654	2016
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	End-of-life medical treatments in the last two weeks of life in palliative care units in Japan, 2005-2006: A nationwide retrospective cohort survey.	J Palliat Med	19(11)	1188-1196	2016
Mori M, <u>Morita T</u>	Advances in hospice and palliative care in Japan: A review paper.	Korean J Hosp Palliat Care	19(4)	283-291	2016
Okamoto Y, <u>Morita T</u> , et al	Desirable information of opioids for families of patients with terminal cancer: The bereaved family members' experiences and recommendations.	Am J Hosp Palliat Care	Jan 13	[Epub ahead of print]	2016
<u>Otani H</u> , <u>Morita T</u> , et al	The death of patients with terminal cancer: the distress experienced by their children and medical professionals who provide the children with support care.	BMJ Support Palliat Care	Feb 4	[Epub ahead of print]	2016
Aoyama M, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	The Japan hospice and palliative care evaluation study 3: study design, characteristics of participants and participating institutions and response rates.	Am J Hosp Palliat Care	May 2	[Epub ahead of print]	2016
Hamano J, <u>Morita T</u> , et al	Adding items that assess changes in activities of daily living does not	Palliat Med	Jul 13	[Epub ahead of print]	2016

	improve the predictive accuracy of the palliative prognostic index.				
Mori M, Morita T, Matsumoto Y, et al	Predictors of response to corticosteroids for dyspnea in advanced cancer patients: a preliminary multicenter prospective observational study.	Support Care Cancer	Nov 29	[Epub ahead of print]	2016
Yamada T, Morita T, Matsumoto Y, Otani H, et al	A prospective, multicenter cohort study to validate a simple performance status-based survival prediction system for oncologist.	Cancer	Dec 7	[Epub ahead of print]	2016
Otani H,et al.	The death of terminal cancer patients: The distress experienced by their children and medical professionals who provide the children with support care.	BMJ Support Palliat Care.			[Epub ahead of print]
Maed I,Otani H, et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study.	Lancet Oncol.	17	115- 122	2016
Amano K,Otani H, et al.	Clinical Implications of C-Reactive Protein as a Prognostic Marker in Advanced Cancer Patients in Palliative Care Settings.	J Pain Symptom Manage.	51	860- 867	2016
Yamada T,Otani H, et al.	A prospective multicenter cohort study to validate a simple, performance status based, survival prediction system for oncologists.	Cancer.			[Epub ahead of print]
Fujisawa D, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, Ogawa A, et al.	Impact of depression on health utility value in cancer patients	Psychooncology	25(5)	491-495	2016
Onaka Y,	Prostaglandin D2	Behavioural Brain	314	77-86	2016

Shintani N, Nakazawa T, Kanoh T, Ago Y, Matsuda T, <u>Ogawa A</u> , et al.	signaling mediated by the CRTH2 receptor is involved in MK-801-induced cognitive dysfunction.	Research			
Maeda I, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Otani H</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study.	Lancet Oncol.	Nov 20	[Epub ahead of print]	2015
Umezawa S, Fujimori M, Matsushima E, <u>Kinoshita H</u> , Uchitomi Y	Preferences of advanced cancer patients for communication on anticancer treatment cessation and the transition to palliative care.	Cancer	Dec 1;121 (23)	4240-9	2015
Akiyama M, <u>Morita T</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	The effects of community-wide dissemination of information on perceptions of palliative care, knowledge about opioids, and sense of security among cancer patients, their families, and the general public.	Support Care Cancer	24(1)	347-56	2016 (2015 Jun 16)
Baba M, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Otani H</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Survival prediction for advanced cancer patients in the real world: A comparison of the Palliative Prognostic Score, Delirium-Palliative Prognostic Score, Palliative Prognostic Index and modified Prognosis in Palliative Care Study predictor model.	Eur J Cancer.	51(12)	1618-29	2015
Hamano J, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Otani H</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study.	Oncologist.	20(7)	839-44	2015
Hamano J, <u>Morita T</u> , <u>Kinoshita H</u> .	Validation of the Simplified Palliative Prognostic Index Using a	J Pain Symptom Manage	50(4)	542-547	2015

et al	Single Item From the Communication Capacity Scale.				
Maeda I, Morita T, Kinoshita H.	Reply to H. Nakayama et al.	J Clin Oncol	33 (19)	2228-9	2015
Kizawa Y, Morita T, Kinoshita H, et al	Improvements in Physicians' Knowledge, Difficulties, and Self-Reported Practice After a Regional Palliative Care Program.	J Pain Symptom Manage	50 (2)	232-40	2015
Igarashi T, Matsumoto Y, Kinoshita H. et al	Oxycodone frequently induced nausea and vomiting in oxycodone-naïve patients with hepatic dysfunction.	J Palliat Med.	18(5)	399	2015
Miura T, Matsumoto Y, Morita T, Kinoshita H. et al	Glasgow prognostic score predicts prognosis for cancer patients in palliative settings: a subanalysis of the Japan-prognostic assessment tools validation (J-ProVal) study.	Support Care Cancer.	23(11)	3149-56	2015
Kinoshita H, Morita T, et al	Place of death and the differences in patient quality of death and dying and caregiver burden.	J Clin Oncol.	33(4)	357-63	2015
Shimizu K, et al	Personality traits and coping styles explain anxiety in lung cancer patients to a greater extent than other factors.	Jpn J Clin Oncol.	45	456-63	2015
Fujisawa D, Shimizu K, et al	Impact of depression on health utility value in cancer patients.	Psychooncology.			In press
Wada S, Shimizu K, et al	The Association between Depressive Symptoms and Age in Cancer Patients: A Multicenter Cross-Sectional Study.	J pain Symptom Manage.	50	768-77	2015
Akizuki N, Shimizu K, et al	Prevalence and predictive factors of depression and anxiety in patients with pancreatic cancer: a longitudinal study.	Jpn J Clin Oncol.			In press
Akechi T, et al	Difference of patient's	Jpn J Clin Oncol	45 (1)	75-80	2015

	perceived need in breast cancer patients after diagnosis				
<u>Akechi T</u> ,et al	Anxiety in disease free breast cancer patients might be alleviated by provision of psychological support, not of information	Anxiety in disease free breast cancer patients might be alleviated by provision of psychological support, not of information	45 (10)	929-933	2015
<u>Akechi T</u> ,et al	Brief screening of patients with distressing fear of recurrence in breast cancer survivors	Breast Cancer Res Treat	153 (2)	475-476	2015
Okuyama T, <u>Akechi T</u> , et al	Screening Performance for Frailty Among Older Patients With Cancer:A Cross-Sectional Observational Study of Two Approaches	J Natl Compr Canc Netw	13 (12)	1525-31	2015
Yonemoto N, <u>Akechi T</u> , et al	Strategic use of new generation antidepressants for depression: SUN(^_^) D protocol update and statistical analysis plan	Trials	16:459		2015
Watanabe N, <u>Akechi T</u> , et al	Adding smartphone-based cognitive-behavior therapy to pharmacotherapy for major depression (FLATT project): study protocol for a randomized controlled trial	Trials	16:459		2015
Wada S, <u>Akechi T</u> , et al	The Association Between Depressive Symptoms and Age in Cancer Patients: A Multicenter Cross-Sectional Study	J Pain Symptom Manage	50(6)	768-77	2015
Sugano K, <u>Akechi T</u> , et al	Medical Decision-Making Incapacity among Newly Diagnosed Older Patients with Hematological Malignancy Receiving First Line Chemotherapy	PLoS On.	10(8)		
<u>Shimizu K</u> , <u>Akechi T</u> , <u>Ogawa A</u> ,et al	Personality traits and coping styles explain anxiety in lung cancer	Jpn J Clin Oncol.:	45(5)	456-463	2015

	patients to a greater extent than other factors				
Kondo M, <u>Akechi T</u> , et al	Analysis of vestibular-balance symptoms according to symptom duration: dimensionality of the Vertigo Symptom Scale-short form	Health Qual Life Outcomes	13	4	2015
Ito Y, Akechi T, et al	Good death for children with cancer: a qualitative study	Jpn J Clin Oncol	45(4)	349-355	2015
Fujisawa D, <u>Ogawa A</u> , <u>Akechi T</u> , <u>Shimizu K</u> , et al	Impact of depression on health utility value in cancer patients	Psychooncology	in press		2015
Kubota Y, <u>Akechi T</u> , et al	Effectiveness of a psycho-oncology training program for oncology nurses: a randomized controlled trial	Psychooncology	in press		2015
Takeuchi H, <u>Akechi T</u> , et al	Japanese Society of Clinical Oncology clinical practice guidelines 2010 for antiemesis in oncology: executive summary	Int J Clin Oncol	in press		2015
Onishi H, <u>Akechi T</u> et al	Early detection and successful treatment of Wernicke encephalopathy in a patient with advanced carcinoma of the external genitalia during chemotherapy	Palliat Support Care	in press		2015
Nakazawa Y, <u>Kizawa Y</u> .	Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan: A Delphi Study.	J Pain Symptom Manage.			2015 Dec 8. [Epub ahead of print]
<u>Akechi T</u> , <u>Kizawa Y</u> .	Assessing medical decision making capacity among cancer patients: Preliminary clinical experience of using a competency assessment instrument.	Palliat Support Care.	13(6)	1529-33	2015
<u>Kizawa Y</u> , <u>Morita T</u> .	Improvements in Physicians' Knowledge, Difficulties, and Self-Reported Practice After a	J Pain Symptom Manage	50(2)	232-40	2015

	Regional Palliative Care Program.				
Takase N, <u>Kizawa Y.</u>	Methadone for Patients with Malignant Psoas Syndrome: Case Series of Three Patients.	J Palliat Med.	18(7)	645-52	2015
Nakajima K, <u>Morita T.</u> <u>Kizawa Y.</u> , et al	Psychologists involved in cancer palliative care in Japan: A nationwide survey.	Palliat Support Care	13(2)	327-334	2015
Shinjo T, <u>Morita T.</u> , et al	Why people accept opioids: Role of general attitudes toward drugs, experience as a bereaved family, information from medical professionals, and personal beliefs regarding a good death.	J Pain Symptom Manage	49(1)	45-54	2015
Shimada A, <u>Morita T.</u> , et al	Physicians' attitude toward recurrent hypercalcemia in terminally ill cancer patients.	Support Care Cancer	23(1)	177-183	2015
<u>Kinoshita H.</u> <u>Morita T.</u> , et al	Place of death and the differences in patient quality of death and dying and caregiver burden.	J Clin Oncol	33(4)	357-363	2015
Yamagishi A, <u>Morita T.</u> , et al	Length of home hospice care, family-perceived timing of referrals, perceived quality of care, and quality of death and dying in terminally ill cancer patients who died at home.	Support Care Cancer	23(2)	491-499	2015
Tsai JS, <u>Morita T.</u> , et al	Consciousness levels one week after admission to a palliative care unit improve survival prediction in advanced cancer patients.	J Palliat Med	18(2)	170-175	2015
Amano K, <u>Morita T.</u> , et al	Association between early palliative care referrals, inpatient hospice utilization, and aggressiveness of care at the end of life.	J Palliat Med	18(3)	270-273	2015
Murakami N, <u>Morita T.</u> , et al	Going back to home to die: does it make a difference to	BMC Palliat Care	14	7	2015

	patient survival?				
<u>Nakajima K,</u> <u>Morita T,</u> <u>Kizawa Y,</u> et al	Psychologists involved in cancer palliative care in Japan: A nationwide survey.	Palliat Support Care	13(2)	327-334	2015
Baba M, Morita T, et al	Independent validation of the modified prognosis palliative care study (PiPS) predictor models in three palliative care settings.	J Pain Symptom Manage	49(5)	853-860	2015
Miyashita M, Morita T, et al	Independent validation of the Japanese version of the EORTC QLQ-C15-PAL for patients with advanced cancer.	J Pain Symptom Manage	49(5)	953-959	2015
<u>Kaneishi K,</u> <u>Morita T,</u> et al	Single-dose subcutaneous benzodiazepines for insomnia in patients with advanced cancer.	J Pain Symptom Manage	49(6)	e1-2	2015
<u>Hamano J,</u> <u>Morita T,</u> <u>Matsumoto Y,</u> <u>Otani H,</u> <u>Kinoshita H,</u> et al	Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study.	Oncologist	20(7)	839-844	2015
Maeda I, Morita T, Kinoshita H	Reply to H. Nakayama et al	J Clin Oncol	33(19)	2228-2229	2015
Miyashita M, <u>Morita T,</u> et al	A nationwide survey of quality of end-of-life cancer care in designated cancer centers, inpatient palliative care units and home hospice in Japan: The J-HOPE Study.	J Pain Symptom Manage	50(1)	38-47	2015
Baba M, <u>Morita T,</u> <u>Matsumoto Y,</u> <u>Otani H,</u> <u>Kinoshita H,</u> et al	Survival prediction for advanced cancer patients in the real world: A comparison of the Palliative Prognostic Score, Delirium-Palliative Prognostic Score, Palliative Prognostic Index and modified Prognosis in Palliative Care Study predictor model.	Eur J Cancer	51(12)	1618-1629	2015
Amano K, <u>Morita T,</u> et al	The accuracy of physicians' clinical predictions of	J Pain Symptom Manage	50(2)	139-146	2015

	survival in patients with advanced cancer.				
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care physicians' attitudes toward patient autonomy and a good death in East Asian Countries.	J Pain Symptom Manage	50(2)	190-199	2015
<u>Kizawa Y</u> , <u>Morita T</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Improvements in physicians' knowledge, difficulties, and self-reported practice after a regional palliative care program.	J Pain Symptom Manage	50(2)	232-240	2015
Sasao S, Morita T, et al	Facility-related factors influencing the place of death and home care rates for end-stage cancer patients.	J Palliat Med	18(8)	691-696	2015
Hui D, <u>Morita T</u> , et al	Indicators of integration of oncology and palliative care programs: an international consensus.	Ann Oncol	26(9)	1953-1959	2015
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Strategies for development of palliative care from the perspectives of general population and health care professionals: A Japanese outreach palliative care trial of integrated regional model study.	Am J Hosp Palliat Care	32(6)	604-610	2015
Tanabe K, <u>Morita T</u> , et al	Evaluation of a novel information-sharing instrument for home-based palliative care: A feasibility study.	Am J Hosp Palliat Care	32(6)	611-619	2015
Amano K, Morita T, et al	Assessment of intervention by a palliative care team working in a Japanese general hospital: A retrospective study.	Am J Hosp Palliat Care	32(6)	600-603	2015
Chen SY, <u>Morita T</u> , et al	A cross-cultural study on behaviors when death is approaching in East Asian Countries.	Medicine	94(39)	e1573	2015
Hamano J, <u>Morita T</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Validation of the simplified palliative prognostic index using a single item from the communication capacity scale.	J Pain Symptom Manage	50(4)	542-547	2015
Yokomichi N,	Validation of the Japanese	J Pain Symptom	50(5)	718-723	2015

<u>Morita T, et al</u>	version of Edmonton symptom assessment system-revised.	Manage			
Sekine R, <u>Morita T, et al</u>	Changes in and associations among functional status and perceived quality of life of patients with metastatic/locally advanced cancer receiving rehabilitation for general disability.	Am J Hosp Palliat Care	32(7)	695-702	2015
Miura T, <u>Matsumoto Y,</u> <u>Morita T,</u> <u>Kinoshita H,</u> et al	Glasgow prognostic score predicts prognosis for cancer patients in palliative settings: a subanalysis of the Japan-prognostic assessment tools validation (J-ProVal) study.	Support Care Cancer	23(11)	3149-3156	2015
Mori M, <u>Morita T, et al</u>	A national survey to systematically identify factors associated with oncologists' attitudes toward end-of-life discussions: what determines timing of end-of-life discussions?	Oncologist	20(11)	1304-1311	2015
Lee YP, <u>Morita T, et al</u>	The relationship between pain management and psychospiritual distress in patients with advanced cancer following admission to a palliative care unit.	BMC Palliat Care	14(1)	69	2015
Amano K, <u>Morita T, et al</u>	Need for nutritional support, eating-related distress and experience of terminally ill patients with cancer: a survey in an inpatient hospice.	BMJ Support Palliat Care	Jan 6	[Epub ahead of print]	2015
Kinoshita S, <u>Morita T, et al</u>	Changes in perceptions of opioids before and after admission to palliative care units in Japan: Results of a nationwide bereaved family member survey.	Am J Hosp Palliat Care	Apr 9	[Epub ahead of print]	2015
Kinoshita S, <u>Morita T, et al</u>	Japanese bereaved family members' perspectives of palliative care units and	Am J Hosp Palliat Care	Apr 7	[Epub ahead of print]	2015

	palliative care: J-HOPE study results.				
Kobayakawa M, <u>Morita T</u> , et al	Family caregivers require mental health specialists for end-of-life psychosocial problems at home: a nationwide survey in Japan.	Psychooncology	Sep 14	[Epub ahead of print]	2015
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Establishing cut-off points for defining symptom severity using the Edmonton symptom assessment system-revised Japanese version.	J Pain Symptom Manage	Oct 24	[Epub ahead of print]	2015
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Development of validation of the comprehensive quality of life outcome (CoQoLo) inventory for patients with advanced cancer.	BMJ Support Palliat Care	Oct 22	[Epub ahead of print]	2015
Maeda I, <u>Morita T</u> , <u>Matsumoto Y</u> , <u>Otani H</u> , <u>Kinoshita H</u> , et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a prospective cohort study.	Lance Oncol	Nov 20	[Epub ahead of print]	2015
Hui D, <u>Morita T</u> , et al	Replay to the letter to the editor 'Integration between oncology and palliative care: does one size fit all?' by Verna et al	Ann Oncol	Nov 24	[Epub ahead of print]	2015
Nakazawa Y, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Population-based quality indicators for palliative care programs for cancer patients in Japan: A Delphi study.	J Pain Symptom Manage	Dec 7	[Epub ahead of print]	2015
<u>Otani H</u> , et al	The death of patients with terminal cancer: the distress experienced by their children and medical professionals who provide the children with support care.	BMJ Support Palliat Care.			[Epub ahead of print]
Amano K, <u>Otani H</u> , et al	Clinical Implications of C-Reactive Protein as a Prognostic Marker in Advanced Cancer Patients in Palliative Care	J Pain Symptom Manage.			[Epub ahead of print]

	Settings.				
Maeda I, <u>Otani H</u> , et al	Effect of continuous deep sedation on survival in patients with advanced cancer (J-Proval): a propensity score-weighted analysis of a Prospective cohort study.	Lancet Oncol.	17	115-122	2015
Baba M, <u>Otani H</u> , et al	Survival prediction for advanced cancer patients in the real world: A comparison of the Palliative Prognostic Score, Delirium-Palliative Prognostic Score, Palliative Prognostic Index and modified Prognosis in Palliative Care Study predictor model.	Eur J Cancer.	51	1618-1629	2015
Hamano J, <u>Otani H</u> , et al	Surprise Questions for Survival Prediction in Patients With Advanced Cancer: A Multicenter Prospective Cohort Study.	Oncologist.	20	839-844	2015

日本語雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
松本禎久	がん患者への早期からの緩和ケア提供	千葉県医師会雑誌	69	468-469	2017
松本禎久	早期からの緩和ケア コトハジメ 日本での実証研究の今	緩和ケア	28(1)	38-41	2018
五十嵐尚子, <u>木澤義之他</u>	遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する多施設遺族調査における結果のフィードバックの活用状況	Palliative Care Research	12 巻 1 号	131-139	2017
<u>木澤義之</u> , 坂下明大他	緩和ケアとエンド・オブ・ライフ (終末期ケア)	肺癌	57 巻	720-722	2017
青山真帆, <u>木澤義之他</u>	宗教的背景のある施設において患者の望ましい死の達成度が高い理由—全	Palliative Care Research	12 巻 2 号	211-220	2017

	国のホスピス・緩和ケア病棟 127 施設の遺族調査の結果からー				
木澤義之,長岡広香	早期緩和ケア介入の意義とアドバンス・ケア・プランニングの実践ポイント	薬局	68 巻 8 号	2786-2791	2017
木澤義之,山本亮	緩和ケア研修会 PEACE プロジェクトの成果と展望	癌と化学療法	44 巻 7 号	541-544	2017
木澤義之	意思決定支援	日本医師会雑誌	146 巻 5 号	965	2017
木澤義之	【心疾患・COPD・神経疾患の緩和ケア がんと何が同じで、どこがちがうか】わが国の政策と診療報酬の動向	緩和ケア	27 巻 6 月増刊	8-11	2017
岸野 恵,木澤義之他	がん患者が答えやすい痛みの尺度 鎮痛水準測定法開発のための予備調査	ペインクリニック	38 巻 1 号	93-98	2017
長岡広香,木澤義之他	がん診療連携拠点病院のソーシャルワーカー・退院調整看護師から見た緩和ケア病棟転院の障壁	Palliative Care Research	12 巻 4 号	789-799	2017
明智 龍男	チーム医療において心理職が知っておく基礎知識	精神療法	43	527-831	2017
明智 龍男	高齢発症の適応障害	精神科治療学	32	350-353	2017
明智 龍男	がん患者の不安・うつと自殺	精神科	31	286-289	2017
明智 龍男	死にゆく患者に対して私たちはなにができるのだろうか？	老年精神医学雑誌	28:	830-831	2017
明智 龍男	がん患者の精神症状の特徴とその評価	薬局	68	51-54	2017
明智 龍男	がん患者にはどのように接すればよいのでしょうか	medicina	54	1204-1207	2017
明智 龍男	がん患者・家族への bad news の伝え方	血液内科	74	557-561	2017
明智 龍男	乳癌診療を支える医療-サイコオンコロジー	乳癌学	75	434-437	2017
明智 龍男	なぜせん妄は防ぐことがむずかしいのか	Modern Physician	37	329-332	2017
明智 龍男	がん患者の不安・抑うつ・せん妄とがん性疼痛に対する精神医学的アプローチ	臨床精神薬理	20	429-436,	2017
今井必生, 明	スマートフォンを用いた認	精神科	30	431-435	2017

智龍男, 他	知行動療法				
岸野恵, 木澤義之, 森田達也, 他	がん患者が答えやすい痛みの尺度—鎮痛水準測定方法開発のための予備調査—.	ペインクリニック	38(1)	93-98	2017
森田達也	落としてはいけない Key article 第13回治療効果を測定するのはNRSの変化でいいのか?.	緩和ケア	27(1)	53-57	2017
森田達也	落としてはいけない Key article 第14回メサドンは神経障害性疼痛に初回治療として経皮フェンタニルよりも有効らしい.	緩和ケア	27(2):	125-129	2017
五十嵐尚子, 森田達也, 木澤義之, 他	遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する多施設遺族調査における結果のフィードバックの活用状況.	Palliat Care Res	12(1)	131-139	2017
日下部明彦, 森田達也, 他	「地域の多職種でつくった死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのガイドブック」の医学教育に用いた報告.	Palliat Care Res	12(1)	906-910	2017
森田達也	落としてはいけない Key article 第15回終末期せん妄に抗精神病薬は無効で、生命予後も短くする?.	緩和ケア	27(3)	196-202	2017
小田切拓也, 森田達也, 他	ホスピス・緩和ケア病棟から存命退院した患者の退院後の療養場所と死亡確認場所に関する全国調査.	癌の臨床	63(2)	159-165	2017
青山真帆, 森田達也, 木澤義之, 他	宗教的背景のある施設において患者の望ましい死の達成度が高い理由—全国のホスピス・緩和ケア病棟127施設の遺族調査の結果から—.	Palliat Care Res	12(2)	211-220	2017
森田達也	落としてはいけない Key article 第16回死前喘鳴の薬物療法を考える.	緩和ケア	27(4)	270-275	2017
佐久間由美, 森田達也	外来緩和ケアのマネジメントのコツ 「緩和ケア外来」というより、「外来の緩和ケアチーム」.	緩和ケア	27(5)	306-313	2017
森田達也	落としてはいけない Key article 第17回モルヒネはがんの進行を促進するが、メチルナルトレキソンは抑制す	緩和ケア	27(5)	344-347	2017

	る？.				
児玉麻衣子, 森田達也, 他	Good Death Scale (GDS) 日本語版訳の作成と言語的妥当性の検討.	Palliat Care Res	12(4)	311-316	2017
鈴木梢, 森田達也, 他	緩和ケア病棟で亡くなったがん患者における補完代替医療の使用実態と家族の体験.	Palliat Care Res	12(4)	731-738	2017
塩崎麻里子, 森田達也, 他	がん患者遺族の終末期における治療中止の意思決定に対する後悔と心理的対処: 家族は治療中止の何に、どのような理由で後悔しているのか?	Palliat Care Res	12(4)	753-760	2017
山口崇, 森田達也 (企画担当)	呼吸困難 ~ エビデンスはそうだけど、実際はこれもいいよね. 特集にあたって.	緩和ケア	27(6)	376	2017
森田達也, 他	落としとしてはいけない Key article 第18回非劣性試験って何? 粘膜吸収性フェンタニル vs. モルヒネ皮下注射.	緩和ケア	27(6)	424-428	2017
伊藤怜子, 森田達也, 他	Memorial Symptom Assessment Scale (MSAS) を使用した日本における一般市民を対象とした身体症状・精神症状の有症率と強度、苦痛の程度の現状.	Palliat Care Res	12(4)	761-770	2017
山口健也, 森田達也, 他	経胃的にドレナージし症状緩和を得た卵巣癌に伴う被包化腹水の1例.	日本プライマリ・ケア連合学会誌	40(4)	186-188	2017
大谷弘行	終末期の意思決定の考え方	精神科	31	302-306	2017
小川朝生	せん妄 適確にアセスメントをし、せん妄を予防する	看護科学研究	15(2)	45-49	2017
小川朝生	がん患者の包括的アセスメントとチーム医療の実践	薬局	68(8)	30-35	2017
小川朝生	サイコオンコロジストの立場から	日本医師会雑誌	146(5)	937-40	2017
小川朝生	医療における意思決定能力の評価	緩和ケア	27(4)	263	2017
小川朝生	寝かしたほうがよい不眠、寝かさなくてよい不眠—閾値下せん妄を見つける	緩和ケア	27(4)	241-245	2017
小川朝生	サイコオンコロジーの意義と診療の実際	新薬と臨牀	66(5)	66-69	2017
小川朝生	《がんサポートのいま》が	Modern Physician	37(10)	1032-5	2017

	んサバイバー支援とピアサポート				
<u>小川朝生</u>	認知症・せん妄の緩和ケア	精神科	31(4)	295-301	2017
<u>小川朝生</u>	せん妄対策が変わってきた！「DELTA プログラム」ってどんなもの？	エキスパートナース	33(12)	51-7	2017
<u>松本禎久</u>	そうなるといいですね .	緩和ケア	26(6 月増刊)	23-24.	2016
<u>松本禎久</u>	Temel 論文のインパクトと現在 早期からの専門的緩和ケア提供のエビデンス構築を目指して	Cancer Board Square	2	65	2016
<u>平山貴敏・清水研</u>	話がまとまらない	医学書院	53	1890-1894	2016
<u>里見絵理子</u>	診断時からの緩和ケア	国がん中央病院がん攻略シリーズ 最先端治療乳癌		36-39	2016
<u>里見絵理子</u> 、 <u>木内大佑</u> 、 <u>西島薫</u>	骨転移の疼痛に対する鎮痛剤の使い方	腫瘍内科	18	295-301	2016
<u>木内大佑</u> 、 <u>西島薫</u> 、 <u>里見絵理子</u>	講座 乳癌診療における緩和治療	乳癌の臨床	31	399-404	2016
<u>木内大佑</u> 、 <u>里見絵理子</u>	痛みへの対応～鎮痛薬の使い分け	レジデントノート	18	2893-2901	2017
<u>島田麻美</u> 、 <u>木澤義之</u>	【前立腺癌 がん・合併症・有害事象での薬物治療戦略を総まとめ】前立腺癌有痛性骨転移患者の疼痛緩和におけるオピオイドの匙加減	薬局	67 巻 11 号	3063-3068	2016 年 10 月
<u>木澤義之</u> 他	【レジデントにとって必須】今後のことを話しあおう	レジデント	9 巻 7 号	96-101	2016 年 7 月
<u>木澤義之</u> 他	がん薬物療法とアドバンス・ケア・プランニング	癌と科学療法	43 巻 3 号	227-280	2016 年 3 月
<u>明智龍男</u>	認知機能に障害のある Over80 歳のがん診療の諸問題と実際	Cancer Board 2		267-272	2016
<u>明智龍男</u>	がん患者の精神症状緩和-サ	泌尿器外科	29	239-244	2016

	イコオoncロジーの視点から				
坂本宣弘, 奥山徹, 内田恵, 明智龍男, 他	せん妄を併発した時に抗精神病薬は使用するか?	緩和ケア	26	424-427	2016
伊藤嘉規, 奥山徹, 明智龍男	小児がん患者・家族のこころのケア	医薬ジャーナル	52	101-103	2016
伊藤嘉規, 奥山徹, 明智龍男	がん患者や家族へのこころのケア-望ましい死(Good Death)と終末期ケア	医薬ジャーナル	52	85-86	2016
垂見明子, 森田達也, 他	終末期についての話し合いに関するがん治療医の意見: 質問紙調査の自由記述の質的分析	Palliat Care Res	11(1)	301-305	2016
森田達也, 他	すっきりしない症状への対応どこまでやれば「合格」か?. 特集にあたって	緩和ケア	26(1)	4	2016
上元洵子, 森田達也, 他	厄介な直腸テネスマス	緩和ケア	26(1)	30-35	2016
森田達也, 他	落としてはいけない Key article 第7回ステロイドは痛みに効くか? 食欲とだるさはよくなるが痛みは変わらず	緩和ケア	26(1)	68-73	2016
内藤明美, 森田達也, 他	Advance Care Planning に関するホスピス入院中の進行がん患者の希望	Palliat Care Res	11(1)	101-108	2016
森田達也, 他	落としてはいけない Key article 第8回死亡直前の持続的深い鎮静は生命予後に影響しない 傾向スコアを用いた解析	緩和ケア	26(2)	146-151	2016
森田達也	抗がん治療の中止と意思決定に関わる最新のエビデンス	緩和ケア	26(3)	169-175	2016
森田達也, 他	落としてはいけない Key article 第9回粘膜吸収性フェンタニルはタイトレーション	緩和ケア	26(3)	223-229	2016

	をしなくてもよい？				
<u>森田達也</u>	終末期の鎮静は安楽死なのか？議論再び	がん看護	21(4)	408-411	2016
<u>森田達也</u>	へえ□どうして？	緩和ケア	26(6 月増刊号)	46-48	2016
岩淵正博, <u>森田達也</u> , 他	終末期医療を患者・家族・医師の誰が主体となって決定したかについての関連要因と主体の違いによる受ける医療や Quality of Life への影響の検討	Palliat Care Res	11(2)	189-200	2016
<u>森田達也</u>	苦痛緩和のため鎮静についてのアドバンスな知識 質の高い実践の土台を得る 特集にあたって	緩和ケア	26(4)	248	2016
<u>森田達也</u>	落としてはいけない Key article 第 10 回トラマドール/コデインはいらないのではありませんか？	緩和ケア	26(4)	296-303	2016
<u>森田達也</u> , 他	抗がん治療をいつまで続けるか エビデンスの創出・統合から実践へ	癌と化学療法	43(7)	824-830	2016
<u>森田達也</u>	終末期医療にもエビデンスを意思決定・施策・鎮静について	月刊保団連	9 月号 (1223)	16-23	2016
<u>森田達也</u>	「その時がいつか」を予測する 余命を推定する確かな方法 特集にあたって	緩和ケア	26(5)	322	2016
<u>森田達也</u>	進行がん患者の予後予測指標の全体像と今後の展望 余命の予測はどこまで可能になるか？	緩和ケア	26(5)	323-327	2016
白土明美, <u>森田達也</u> , 他	時間、日の単位の余命を予測するための指標たち - 「今日は大丈夫か」「いよいよ今夜か」を見積もる	緩和ケア	26(5)	350-355	2016
高橋理智, <u>森田</u>	日本と世界のオピオイド消費	緩和ケア	26(5)	367-374	2016

達也, 他	量				
森田達也	落とすにはいけない Key article 第 11 回「スピリチュアルペイン」に対するランダム化比較試験	緩和ケア	26(5)	379-385	2016
森岡慎一郎, 森田達也, 他	終末期がん患者の感染症診療: 何が医療者の意向の差異に繋がるか?	Palliat Care Res	11(4)	241-247	2016
森田達也	そろそろ、メサドン? 「4 段階目」の新規麻薬の実践上のコツ 特集にあたって	緩和ケア	26(6)	404	2016
森田達也, 他	メサドンとは? - 基礎知識	緩和ケア	26(6)	405-408	2016
高橋理智, 森田達也, 他	日本のがん疼痛とオピオイド量の真実第 2 回 世界各国と日本のオピオイド消費量に関する研究. 日本のがん患者に使用されているオピオイドは本当に少ないのか?	緩和ケア	26(6)	445-451	2016
森田達也	落とすにはいけない Key article 第 12 回ステロイドが呼吸困難に効くかを調べたければどうしたらいいか?	緩和ケア	26(6)	456-461	2016
清水恵, 森田達也, 他	遺族による終末期がん患者への緩和ケアの質の評価のための全国調査: the Japane Hospice and Palliative Care Evaluation 2 study (J-HOPE2 study)	Palliat Care Res	11(4)	254-264	2016
今井堅吾, 森田達也, 他	緩和ケア用 Richmond Agitation-Sedation Scale (RASS)日本語版の作成と言語的妥当性の検討	Palliat Care Res	11(4)	331-336	2016
小川朝生	サイコオンコロジーの立場での意思決定とは~これからの超高齢社会をふまえて~	がん看護	21(1)	16-21	2016
小川朝生	せん妄予防の非薬物療法的アプローチ	医学のあゆみ	256(11)	1131-35	2016

小川朝生	「早期緩和ケア」と「診断時からの緩和ケア」の問題をその背景から考える	CANCER Board Square	2(1)	66-9	2016
小川朝生	せん妄って何？	緩和ケア	26(2)	89-93	2016
小川朝生	現場の取り組みで学ぶ 発達障害と職場適応に向けたかわり方 空気が読めない！	看護人材育成	13(1)	103-7	2016
小川朝生	現場の取り組みで学ぶ 発達障害と職場適応に向けたかわり方 パニックになる！！	看護人材育成	12(6)	95-101	2016
小川朝生	がん治療における精神心理的ケアと薬物療法	臨床消化器内科 6月増刊号 消化器がん化学療法	31(7)	77-81	2016
小川朝生	認知症をもつ高齢がん患者の特徴とアセスメントおよびケアのポイント	がん看護 1+2 増刊号 老いを理解し、実践に活かす 高齢がん患者のトータルケア	21(2)	141-4	2016
小川朝生	意思決定能力	臨床精神医学	45(6)	689-97	2016
小川朝生	アドバンス・ケア・プランニングとはなにか	Modern Physician	36(8)	813-9	2016
小川朝生	せん妄に関して最近わかってきたこと、知っておくべきことー予防的介入がインシデントを減らす	患者安全推進ジャーナル	44	10-6	2016
小川朝生	急性期病院における認知症対応	病院羅針盤	7(84)	11-6	2016
小川朝生	ぼちぼち	緩和ケア-緩和ケアの魔法の言葉 どう声をかけたらいいかわからない時の道標	26(Suppl.JUN)	41-2	2016
小川朝生	がん検診から医療機関受診までのストレスについて	ストレス&ヘルスケア 2016年秋号	222	1-3	2016
小川朝生	がん・終末期のせん妄	月刊 薬事	58(16)	65-70	2016

<u>小川朝生</u>	がん患者のせん妄に対する対策	腫瘍内科	18(5)	408-12	2016
<u>小川朝生</u>	非薬物療法によるせん妄の予防	Progress in Medicine	36(12)	1665-8	2016
<u>小川朝生</u>	HIV 感染による認知症	臨床精神医学 精神科・わたしの診療手順	45 増刊号	471-4	2016
<u>小川朝生</u>	病棟・ICU で出会うせん妄の治療 がん・終末期のせん妄	月刊 薬事	58(16)	65-70	2016
<u>小川朝生</u>	家族のストレスと支援について	ストレス&ヘルスケア 2016年冬号	223	1-3	2016
<u>小川朝生</u>	認知症の緩和ケア	精神神経学会雑誌	118(11)	813-22	2016
<u>沖崎歩, 松本禎久, 木下寛也, 他</u>	緩和ケア外来受診がん患者の抱える薬物治療の問題点と薬剤師の役割.	日本緩和医療薬学雑誌	8	39-45	2015
<u>松本禎久</u>	精神的苦痛・いわゆるスピリチュアルペインによる「身の置き所のなさ」に対する鎮静の是非.	緩和ケア	25 (2)	120-123	2015
<u>松本禎久</u>	オピオイドによる副作用か否かの見極めと発現時の対応 眠気・せん妄.	薬局	66 (6)	1982-1987	2015
<u>松本禎久</u>	内服できなくなった時の経口抗てんかん薬.	緩和ケア	25 (6月増刊)	22-25	2015
<u>松本禎久</u>	ミオクローヌス.	緩和ケア	25 (6)	513	2015
<u>清水研</u>	がん患者のケアに生かす心的外傷後成長の視点.	心身医学	55	399-404	2015
<u>清水研</u>	内服できず、予後が週~短い月の単位と考えられる場合のうつ病.	緩和ケア臨床日々の悩む場面のコンタラパーシー	25	115-119	2015
<u>清水研</u>	がん医療・緩和医療におけるうつ病患者への薬物療法の実際.	Depression Strategy うつ病治療の新たなストラテジー	5	14-16	2015
<u>清水研</u>	がんサバイバーシップ-精神腫瘍科の立場から-	Monthly Book MEDICAL REHABILITATION	191	7-11	2015
<u>里見絵里子</u>	内服・貼付剤で行うがん性痛管理 がん性痛の薬物療法:	ペインクリニック	36	425-434	2015

	オピオイドを中心に				
<u>里見絵里子</u>	コルチコステロイド投与の 実際-悪性消化管閉塞に対す る薬物療法のコントラバー シー-	緩和ケア	25	395-397	2015
<u>里見絵里子</u> 、 <u>木 内大佑</u> 、 <u>西島薫</u>	がんに伴う症状の緩和	レジデント	8	62-68	2015
<u>里見絵里子</u> 、 <u>西 島薫</u> 、 <u>木内大佑</u>	がん疼痛緩和薬(フェンタニ ル速放性製剤)	関節外科-基礎と臨 床-別刷		211-217	2015
<u>明智龍男</u>	患者の自殺を経験した医療 スタッフのケア(ポストベン ション)	臨床栄養	127	618-619	2015
<u>明智龍男</u>	現代のがん医療院におけるサ イコオネロジーの役割-が んと共に生きる時代を背景 に	Depression Strategy	5	1-4	2015
<u>明智龍男</u>	身体疾患とうつ病	精神科	26	409-412	2015
<u>明智龍男</u>	がん患者に対する自殺予防 の実践	精神科治療学	30	485-489	2015
<u>明智龍男</u>	特定の場面におけるうつ状 態への対応	内科	115	241-244	2015
<u>明智龍男</u>	仕事人の楽屋裏	緩和ケア	25	74-75	2015
<u>稲垣正俊</u> 、 <u>明智龍男</u>	がん患者のうつ病・うつ状態 の病態	総合病院精神医学	27	2-7	2015
<u>岸野 恵</u> 、 <u>木澤 義之</u>	大学病院入院中のがん患者 の突出痛の頻度に関する予 備調査	Palliative Care Research	10 巻 3 号	155-160	2015
<u>白土 明美</u> 、 <u>木 澤 義之</u>	ホスピス・緩和ケア病棟の入 院予約と外来機能に関する 全国実態調査	癌と化学療法	42 巻 9 号	1087-1089	2015
<u>山本 亮</u> 、 <u>木澤 義之</u>	PEACE 緩和ケア研修会を 受講したことによる変化と 今後の課題 フォーカスグ ループ・インタビューの結果 から	Palliative Care Research	10 巻 1 号	101-106	2015
<u>山口 崇</u> 、 <u>木澤 義之</u>	【悪性消化管閉塞にどう対 応する?どうケアする?】 悪 性消化管閉塞とオクトレオ チド これからの議論のた めの背景知識	緩和ケア	25 巻 5 号	366-370	2015

木澤 義之, 山口 崇,	【緩和医療の今】包括的アセスメント これからのことを話し合う アドバンス・ケア・プランニング	ペインクリニック	36 巻別冊秋	S613-S618	2015
Author：長谷川 貴昭(岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科), 木澤 義之	急性期病棟での看取りにおける信念対立 終末期せん妄を発症したがん患者と家族への医療スタッフの関わり	死の臨床	38 巻 1号	115-116	2015
木澤 義之	【誰も教えてくれなかった緩和医療-最新知識と実践】がん緩和医療 症状緩和とエンド・オブ・ライフケア	臨床泌尿器科	69 巻 9号	706-709	2015
木澤 義之	アドバンス・ケア・プランニング "もしもの時"に備え、"人生の終わり"について話し合いを始める	ホスピスケアと在宅ケア	23 巻 1号	49-62	2015
木澤 義之	【現場で活用できる意思決定支援のわざ】アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援を行うためのコツ	緩和ケア	25 巻 3号	174-177	2015
森田達也	レスキュー薬再考—しっかりとした知識をもとに—	緩和ケア	25(1)	12-17	2015
山口崇, 森田達也, 木澤義之	ちょっと待った！！口腔粘膜吸収性フェンタニル製剤の“その使い方”	緩和ケア	25(1)	43-46	2015
森田達也	落としてはいけない Key article 第 1 回ケタミンに関する最大規模の比較試験	緩和ケア	25(1)	54-57	2015
阿部泰之, 森田達也, 他	ケア・カフェが地域連携に与える影響—混合研究法を用いて—	Palliat Care Res	10(1)	134-140	2015
森田達也	「身の置き所のなさ」- 概念とその変遷	緩和ケア	25(2)	90-95	2015
森田達也	安楽死・医師による自殺幫助 - 緩和ケアの臨床家が知っておくべき知識	緩和ケア	25(2)	124-129	2015
森田達也, 他	落としてはいけない Key article 第 2 回消化管閉塞に対するオクトレオチドの検証試験 - 有効性を示せず -	緩和ケア	25(2)	152-158	2015
森田達也	特集 がん疼痛とオピオイド. 実践で使える投与設計と患者対応のスキル. 特集にあたって	薬局	66(6)	13	2015

山岸暁美, 森田達也, 他	終末期がん患者に在宅療養 移行を勧める時の望ましい コミュニケーション 多施 設遺族研究	癌と化学療法	42(3)	327-333	2015
山岸暁美, 森田達也, 他	「在宅の視点のある病棟看 護の実践に対する自己評価 尺度」の開発および信頼性・ 妥当性の検証	看護管理	25(3)	248-254	2015
森田達也	落としてはいけない Key article 第3回輸液の効果に 関する20年にわたる積み重 ねの比較試験	緩和ケア	25(3)	222-227	2015
金石圭祐, 森田達也, 他	終末期がん患者の不眠に対 するフルニトラゼパム単回 皮下投与の有効性について	Palliat Care Res	10(2)	130-134	2015
山脇道晴, 森田達也, 他	ホスピス・緩和ケア病棟にお けるご遺体へのケアに関す る遺族の評価と評価に対す る要因	Palliat Care Res	10(2)	101-107	2015
森田達也, 他	特集にあたって 認知症の あるがん患者の緩和ケア	緩和ケア	25(4)	264-265	2015
森田達也	落としてはいけない Key article 第4回倦怠感に対す る精神賦活薬の比較試験の 積み重ねでみえてきた緩和 ケアにおけるプラセボ効果・ ノセボ効果の役割	緩和ケア	25(4)	318-323	2015
岸野恵, 木澤義之, 森田達也, 他	大学病院入院中のがん患者 の突出痛の頻度に関する予 備調査	Palliat Care Res	10(3)	155-160	2015
森田達也	耳鼻咽喉科の疾患・症候別薬 物療法 がん疼痛	JOHNS	31(9)	1372-1374	2015
森田達也	落としてはいけない Key article 第5回「やめどき」 研究 高脂血症治療薬はいつ まで続けるべきなのかに関 する大規模無作為化比較試 験	緩和ケア	25(5)	434-438	2015
白土明美, 森田達也, 木澤義之, 他	ホスピス・緩和ケア病棟の入 院予約と外来機能に関する 全国実態調査	癌と化学療法	42(9)	1087-1089	2015
山脇道晴, 森田達也, 他	遺体へのケアを看護師が家 族と一緒に行うことについ ての家族の体験と評価	がん看護	20(6)	670-675	2015
山脇道晴, 森田達也, 他	ホスピス・緩和ケア病棟で行 われているご遺体へのケア	Palliat Care Res	10(3)	209-216	2015

	に関する遺族の体験と評価 - 自由記述における内容分析				
森田達也 (プラン)	緩和ケア特集オピオイド疼痛管理 up-to-date	プロフェッショナルがんナーシング	5(5)	39	2015
清水恵, 森田達也, 他	受療行動調査における療養生活の質の評価のための項目のがん患者における内容的妥当性と結果の解釈可能性に関する基礎的検討	Palliat Care Res	10(4)	223-237	2015
森田達也	苦痛緩和のための鎮静と安楽死のグレーゾーン - 国際的な議論、再び	緩和ケア	25(6)	504-512	2015
森田達也	イベント前パルス療法	緩和ケア	25(6)	519-520	2015
森田達也	落としてはいけない Key article 第 6 回 Liverpool Care Pathway 騒動が警告するエビデンスの裏づけのない施策の危険性	緩和ケア	25(5)	526-531	2015
森田達也, 他	抗がん剤治療期の緩和ケア治療中止時期における意思決定支援	消化器外科	38(13)	1859-1868	2015
大谷弘行	病院あげての意思決定支援推進プロジェクト～医療者が困難を感じるポイントとは～.	看護管理	25	134-138	2015
大谷弘行	薬剤師が知っておきたいがん患者の心理.	薬局	66	98-102	2015
大谷弘行	FAST FACT<3> 怒り.	緩和ケア	25	56	2015
大谷弘行	がん患者へのケアのコツ 食べられない時のアセスメント 悪液質と思ったらそうではなかった	緩和ケア	25	300-303	2015